

# 中村延子

## 区議会レポート

### Vol. 26

令和元年12月号



発行／立憲民主党・無所属議員団  
 中野区中野4-8-1  
 Phone: 03-3228-8876  
 Fax: 03-3389-8718

編集／中村延子事務所  
 中野区弥生町4-36-6-402  
 Phone: 080-6533-9450  
 Fax: 03-3380-3150  
 email: n@nakamuranobuko.jp

### 中村延子のプロフィール

1981年 9月2日 中野区生まれ

1994年 東京文化小学校卒業

小学校5年生の冬、ブラジルで(社)CISVの11歳キャンプに1ヵ月参加し、9カ国の子どもたちと異文化交流を体験。この頃から国際社会に興味を持つ。

1997年 東京文化中学校卒業

15歳で単身アメリカに渡る決意。

2001年 米国アニーライトスクール高等部卒業

在学中、夏休みを利用して宝仙学園幼稚園でボランティアをし、卒業必須活動である50時間のコミュニティーサービスを、自分の出身地である中野で実施。1912年から続いている伝統行事のメイデイでは、高校生活での活動が評価され卒業生から1人選ばれるメイクインに選ばれた。

2005年 米国クレアモント・ピッツァーカレッジ卒業

在学中、上智大学比較文化学部にてサマースクール受講。2004年 北京大学医学部へ短期留学。

2005年 民間企業に就職

大学卒業式▶

株式会社ケン・コーポレーションから業務委託を受ける総務代行会社に就職。外国人賃貸住宅管理部業務の一端を担う。

2009年 衆議院議員手塚よしお秘書

地元事務所勤務。

2010年 参議院議員蓮舫秘書

参議院選挙にて、秘書派遣で蓮舫大臣の選挙事務所スタッフとして奮闘。その延長線上で事業仕分けのお手伝いも含め、蓮舫事務所に出向。

2011年 中野区議会議員 初当選

1,530票をいただき初当選。建設委員会、震災対策特別委員会を歴任。厚生委員会、地域支え合い推進特別委員会副委員長を務める。民主党東京都連青年委員会交流局副委員長、中野区国際交流協会評議員。

2015年 中野区議会議員 2期目の当選

2,513票をいただき、2期目の当選。区民委員会委員長、少子高齢化対策特別委員会に所属。後期は、総務委員会委員、少子高齢化対策特別委員会委員を務める。

2019年 中野区議会議員 3期目の当選

2,603票をいただき、3期目の当選。現在は、子ども文教委員会、中野駅周辺整備・都市観光調査特別委員会、党青年局局長補佐を務める。

おとめ座／B型／酉年 趣味:音楽、料理、旅行、読書



▲兄と2人で祖母の故郷・広島県福山市にて



▲宝仙幼稚園でのボランティア活動



▲メイデイでのスピーチ



▲北京大学に短期留学



▲2011年4月中野区議選



▲中野区議会立憲民主党・無所属議員団

### ● 墨田区の「すみだ国際学習センター」を視察しました

8月2日に墨田区立錦糸小学校内にある「すみだ国際学習センター」を視察しました。墨田区における多文化共生施策と外国人生徒に対する日本語教育について担当課からお話を伺い、実際の教室も見させていただきました。



### ● 秋田県および郡山市を視察しました

8月5日に秋田県の「性に関する指導」についてお話を伺いました。秋田県では医師会と教育委員会の協力体制により、先進的な性教育導入の10年間で10代の中絶件数を大幅に減らすことに成功。今年度東京都でも性教育の手引きを改訂しており、子どもの虐待防止などの観点も含め、しっかりと取り組んでいかなければいけない課題です。8月6日は郡山市の「ベップキッズ郡山」を視察。震災後、放射線の影響により屋外で遊べなかった子どもたちのために作られた屋内施設です。酷暑でも雨でも子どもが遊べる屋内施設のあり方について、中野区でも検討が必要だと考えています。大規模な施設の中は、たくさん子どもたちでにぎわっていました。



### ● 選択的夫婦別姓についての勉強会を開催しました

9月1日に杉並区の川野たかあき区議と共催で選択的夫婦別姓についての勉強会を開催いたしました。講師として、選択的夫婦別姓・全国陳情アクション事務局長の井田奈緒さんにご講演いただきました。



### ● 広町みらい公園が開園しました

9月23日に広町みらい公園が開園しました。地形を活かした大型複合遊具やクライミング遊具、草地広場、体験学習センターなど魅力的な公園ができあがりました。



### ● 令和2年度予算要望を提出しました



10月21日立憲民主党・無所属議員団として令和2年度に向けた要望書を区長に提出致しました。

1. 子育て先進区にむけた取り組み
2. 安心して地域で暮らし続けられるための取り組み
3. 区民とともに進めるまちづくりのための取り組み
4. 区民サービス向上の取り組み
5. ユニバーサルデザインの推進の5本の柱を軸に区政全般にわたり区の施策及び予算に関し要望いたしました。

### ● WOMAN SHIFT勉強会に参加

8月15日に墨田区のガバメントクラウドファンディングについて視察しました。また、各自治体のガバメントクラウドファンディング実施状況についても共有しました。また、産前産後ケアについても各自治体の取り組みを共有し先進事例や各自治体の不十分な部分を確認しました。



# 第3回 定例会決算特別委員会で 総括質疑をしました



## 1. 平成30年度決算について

- Q** 歳入の特別区税について、平成30年度のふるさと納税影響額は8億9,000万円にも上った。平成30年度当初予算の見込みはどれぐらいだったのか。
- A** 平成30年度予算では9億5,000万円と見込んでいた。
- Q** 平成31年度当初予算の影響額見込みは。
- A** ふるさと納税が大部分を占める寄附金税額控除の今年度の影響額は11億9,000万円となり、平成30年度に比べ約3億円増加している。
- Q** さまざまな努力をした結果、この5年間で0.9%の収納率向上を達成したが、ふるさと納税だけでこの3倍以上の金額が出ていく状況。法人住民税一部国税化の影響額はどれぐらいか。
- A** 特別区長会事務局の試算によると区の影響額は消費税10%になると44億円の減という試算だ。
- Q** 地方消費税交付金の清算基準の影響額は。
- A** 特別区長会事務局の試算では、消費税10%段階になると、21億円の減という試算となる。
- Q** 本来入ってくるはずの税金がこういった理不尽な税制改正によって入ってきていないことは問題だ。政治的な判断でこのような税制改正が行われているが、行政も議会もしっかりと協力をして働きかけが必要。区の考えは。
- A** 都と区が丸で、議会と連携し国に改善を求めていく。

## 2. 多文化共生について

今年1月1日時点で23区内を比較すると、外国人人口の総数は13位、対人口比率にすると7位。平成26年1月1日時点で1万949人だった外国人登録者数は、平成31年1月1日には1万9,326人と176.5%の増加、対人口増加率でも166.9%の増加、全国の中でも東京都は外国人人口が4年間で約16万人増と急激に増加をしているが、その中の23区中、中野区の増加率は何と1位。平成26年に3.5%だった外国人人口が6%をうかがうところまで増加をしてきているという現状を、まず中野区全庁として共有し理解をする必要がある。

### (1) 在住外国人の日本語教育について

- Q** 学校への日本語指導員派遣は1人につき60時間の制限があり、「あいうえお」を覚えるだけで終わってしまうこともある。実際に授業で必要な勉強をサポートするには時間数が足りない状況と聞いている。時間を増やす必要があると考えるが。
- A** 派遣時間の増加については前向きに検討する。
- Q** 中学生が対象となる日本語講座は、学校長の要請により対象の中学生が中野区国際交流協会に通い、火曜日の10時から12時、14時から16時の2コマ行っている。午前と午後受講すると、丸一日学校を離脱することになる。墨田区では墨田国際学習センターにて日本語教育を行っているが、必ず給食はその生徒の所属する学校に戻らせ、クラスで給食を食べるようにカリキュラムを組んでいる。国際交流協会でもこうした時間設定の仕組みにしていくべきでは。
- A** 日本語教育だけでなく、中学生にとってよりよい環境づくりも考慮し、日本語講座の時間設定について検討していきたい。
- Q** 日本に来たばかりで言葉や学校文化等と同時に学業全てを一斉に学ぶのは子どもたちには非常に負担だ。入ってきたばかりの児童・生徒を対象とした日本語の集中日程やオリエンテーションなどを含む導入のカリキュラム等も検討すべきと考えるが。
- A** 言葉がわからない環境では、授業もわからず不安な生活を送ることもある。児童生徒の増加を視野に入れ、方法を研究したい。

### (2) 在住外国人の支援について

- Q** 幼稚園や保育園では、園での子どもの状況に関する日常的な連絡だけにとどまらず、アレルギー対応や発達の課題等、複雑なコミュニケーションが必要になる事もある。出身国によっては宗教等による文化の違いが課題になることもある。入園後の保護者とのコミュニケーションはどのようにとられているか。
- A** 日本語でのコミュニケーションが難しい外国籍等の保護者に対しては、当該外国語を話せる保育士等が通訳となり、コミュニケーションをとっている。連絡票を英語や平仮名など『やさしい日本語』で表記し、外国籍の保護者が園からの情報等を理解できるよう工夫している。
- Q** 保育園・幼稚園である程度の範囲における統一的なマニュアルは作成していないのか。
- A** 統一的なマニュアルは定めていない。
- Q** 外国人の増加傾向から、多言語窓口の設置は急務である。相談内容は、就職、結婚、出産など在留資格にも関わるため、専門相談も検討しては。
- A** 専門的な相談の必要性も踏まえ、検討したい。

## 3. 南中野中学校グラウンド整備について

- Q** 南中野中学校は、中野区立小・中学校施設整備計画の中で建てかえが決まっていない学校の一つであり、統合から10年が経過した。令和7年に建築後50年を経過するが、計画には載っていないため、建て替えは6年以上先になる。グラウンドの抜本的な整備にかかる時間は。
- A** 全ての工事を合わせると、おおよそ7カ月間の整備期間が必要となる。
- Q** 近隣の区有施設を確認したが、グラウンドとして使用できるだけの広さが確保された場所がないのも現実。例えばグラウンド半分ずつの工事をするという工夫をした場合の工事期間は。
- A** 全体で最大で9カ月ほど整備期間がかかると考える。
- Q** 応急的な整備だと工事期間はどれぐらいになるのか。
- A** おおよそ2カ月程度の整備期間となる。
- Q** 南中野中学校以外にもグラウンドがでこぼこになってしまっている学校は存在する。聞き取りや調査をして、全てを把握して計画的に対応していく必要があると思うが。
- A** 改築計画が示されていない学校についても、常に良好なグラウンド環境を維持していきたい。その上で、全ての小・中学校について計画的にグラウンド整備を推進していきたい。

## 4. 災害対策について

### (1) 災害時の妊産婦支援について

- Q** 区として妊産婦及び母子避難所の必要についてはどう捉えているか。
- A** 必要性については、区としても認識をしている。
- Q** 助産師会との協定を今年度結ぶとのことだが、助産師会が活躍するためには、妊産婦や母子専用スペース等が必要であり、場所の模索をすべきと考えるが。
- A** 必要性を認識しており、協定締結と並行して、場所の確保を模索する。

### (2) 罹災証明の発行について

- Q** 都内では、近隣の新宿区、杉並区や足立区、それから小平市、府中市、多摩市、稲城市と、東京都行政書士会の地域支部で罹災証明に係る災害協定を締結している。中野区でも東京都行政書士会中野支部との協定に向けた協議を進めるべきと考える。
- A** 引き続き検討したい。

※その他で選挙当選証書への通称名併記について質問をしました。